コミュニティバスのルート再編(案)

項目			コミュニティバスのルート再編案				
			E案		F案		
方向性			 運行費用を現状維持とし、現行ダイヤより 運行の安全性や定時性の改善とする。 		運行費用を現状維持とし、現行ダイヤム り運行の安全性や定時性を改善し、運行 台数を増加して、ニースの高い時間帯で の便教強化とする。		
運行日			● 年末年始を除く月曜日から水曜日、金曜日から日曜日 日から日曜日 (※ 木曜日を運行日から除外)		● E案と同じ		
運行時間帯			● 現状と同じ		● 8 時頃~17時半頃		
運行ルート (別紙参照) 及び 便数			● 6ルート 黄: 穴虫・祇園荘ルート【3便半(往復)】 青: 関屋ルート【5便(往復)】 橙: 旭ケ丘ルート【3便】 赤: 白鳳台ルート【4便半(往復)】 緑: 真美ヶ丘ルート【4便】 紫: 鎌田ルート【4便】		● 6ルート 黄: 穴虫・祇園荘ルート【4 便半(往復)】 青: 関屋ルート【5 便(往復)】 橙: 旭ケ丘ルート【4 便】 赤: 白鳳台ルート【4 便半(往復)】 緑: 真美ヶ丘ルート【5 便】 紫: 鎌田ルート【4 便(往復)】		
保有車面		重行	マイクロタイプ(29人乗り)ワゴンタイプ(14人乗り)	1台 2台	マイクロタイプ(29人乗り)ワゴンタイプ(14人乗り)	1台 3台	
		予備		1台 1台	• <u>ワゴンタイプ(14 人乗り)</u>	1台 1台	
		計	• マイクロタイプ (29人乗り) • <u>ワゴンタイプ (14 人乗り)</u>	3台 計4台	マイクロタイプ(29人乗り)<u>ワゴンタイプ(14 人乗り)</u>	4台 計5台	
車両購入費用(想定)			● 約300万円(耐用年数 10 年とした年 間負担額)		約360万円(耐用年数10年とした年間負担額)		
運行費用 (想定)		定)	• 約3,600万円		• 約3,600万円		
使用料			◆ 1乗車 100円・小学生 50円・小学生未満は無料		1乗車 100 円・小学生 50 円・小学生 未満は無料		
特徴	本数 ルー 運用		- - - - - - - - 運行費用が抑えられるので財政面における 持続可能性 が高い。				
課題	本数ルー	-	 1ルートあたりの便数の減少 ↓ 8 案や D 案に比べ、新規ルートや停留所の要望への対応が限定的 車種が複数存在することによる運用上の制約が発生 小型車両の導入による乗り残しの可能性の発生 		 1ルートあたりの便数の減少 ↓ B 案や D 案に比べ、新規ルートや停留所の要望への対応が限定的 車種が複数存在することによる運用上の割約が発生 小型車両の導入による乗り残しの可能性の発生 		
	その他		-				